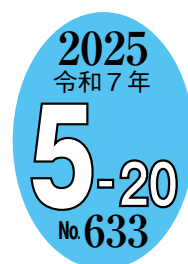




地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん 北信地区経済動向



「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけます。

月例調査レポート



長野市信更町 「長勝寺」

眼下に犀川を望む高台に建つ長勝寺。犀川の向こうには遠く蓮華岳、爺ヶ岳、鹿島槍ヶ岳など北アルプスの絶景が広がります。この絶景に加えて地元の方々が桜の名所にしようと桜を植え、現在では約150本のシダレザクラやソメイヨシノが咲き誇ります。長勝寺仁王門には長野県宝に指定されている「木造金剛力士立像」(阿形と吽形1対)が安置されています。

- 長野しんきん 月例調査レポート 2
- 企業アンケート「価格転嫁」② 6
- インタビュー「変革期の経営ビジョン」 9
- 北信濃の旅人(2) 河鍋暁斎② 10

「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫 すかい](#)



生産は2カ月連続の上昇
前年同月比は2カ月連続の上昇

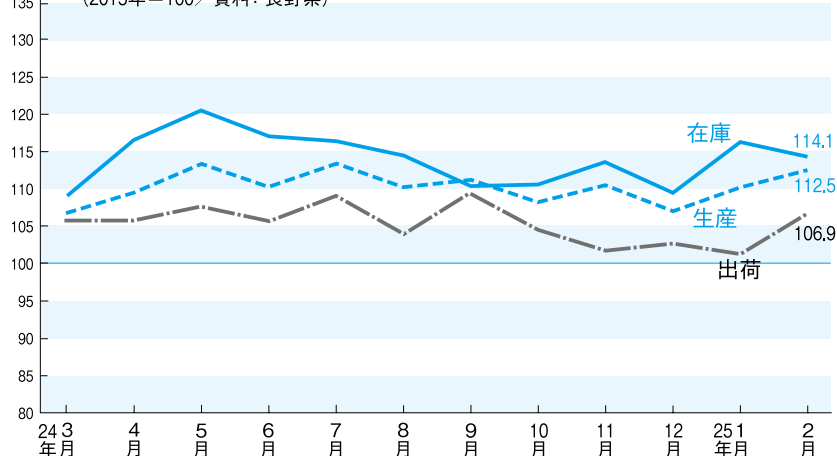
◇2025年2月の長野県鉱工業指数

(速報：季節調整済指数)

生産は112.5(前月比+2.2%)で
2カ月連続の上昇、出荷は106.9
(同+5.8%)で2カ月ぶりの上昇、
在庫は114.1(同▲1.7%)で2カ月
ぶりの減少となりました。

◇前年同月比(原指数)

生産は111.0(前年同月比+2.6
%)で2カ月連続の上昇、出荷は
104.1(同+1.1%)で7カ月ぶり
の上昇、在庫は116.2(同+0.6%)
で2カ月連続の上昇となりまし
た。

●長野県鉱工業の生産・出荷・在庫指数(季節調整済)の推移
(2015年=100/資料：長野県)

[生産] 上昇…はん用・生産用・業務用機械、情報通信機械、食料品など11業種
低下…化学、窯業・土石製品、プラスチック製品など6業種

[出荷] 上昇…はん用・生産用・業務用機械、食料品、情報通信機械など8業種
低下…化学、電子部品・デバイス、窯業・土石製品など9業種

[在庫] 上昇…電気機械、その他、情報通信機械など7業種
低下…はん用・生産用・業務用機械、電子部品・デバイス、化学など9業種

月例調査

全産業の「売上高DI」は改善

◇4月調査による「北信地区の経済状況」

全産業(不動産業・旅館業除く)の売上高前月比は、増加した企業が34.3%、不変が36.9%、減少

が28.8%となり、売上高DI(増加-減少)は+5.5となりました。前月調査時の▲1.1から6.6%改善しました。

●売上高(生産高・施工高)前月比「増加・不変・減少」割合(%)

矢印は前月調査比 (3ポイント以上の動き) 増加 → 不変 → 減少
改善 不変 悪化

全産業

前月

29.2 →

40.5 ↘

30.3 →

→

今月

増加
34.3 ↗

不変
36.9 ↘

減少
28.8 →

↗

製造業

37.1 ↗

34.3 ↘

28.6 ↘

↗

建設業

23.1 ↘

40.0 →

36.9 ↗

↘

卸小売業

34.1 ↗

46.4 ↘

19.5 ↘

↗

サービス業

60.0 ↗

0.0 ↘

40.0 ↗

↗

輸送業

44.4 ↘

33.4 ↗

22.2 ↗

↘

外食業

75.0 ↗

12.5 ↘

12.5 →

↗

195社(回収率89.0%)

30人未満 72.3%

30人以上 27.7%

200社(回収率91.3%)

30人未満 70.5%

30人以上 29.5%

71社(回収率94.7%)

30人未満 60.6%

30人以上 39.4%

65社(回収率94.2%)

30人未満 84.6%

30人以上 15.4%

42社(回収率87.5%)

30人未満 78.6%

30人以上 21.4%

5社(回収率71.4%)

30人未満 60.0%

30人以上 40.0%

9社(回収率90.0%)

30人未満 33.3%

30人以上 66.7%

8社(回収率80.0%)

30人未満 50.0%

30人以上 50.0%

製造業

食料品、金属加工品、一般機械、電気機械、自動車部品、精密機械

「生産高DI」精密機械が悪化するも、全体は改善

製造業の生産高前月比は、増加した企業が37.1%、不変が34.3%、減少が28.6%となり、生産高DIは+8.5となりました。前月調査時の▲8.9から17.4が改善しました。

●生産高前月比「増加・不変・減少」割合(%)

製造業	前月	26.9	37.3	35.8
	今月	増加 37.1	不変 34.3	減少 28.6
食料品		43.8	31.2	25.0
金属加工		23.1	46.1	30.8
一般機械		25.0	37.5	37.5
電気機械		33.3	33.3	33.3
自動車部品		60.0	0.0	40.0
精密機械		28.6	57.1	14.3

【業種別】改善…食料品・金属加工・自動車部品
横ばい…一般機械・電気機械
悪化…精密機械

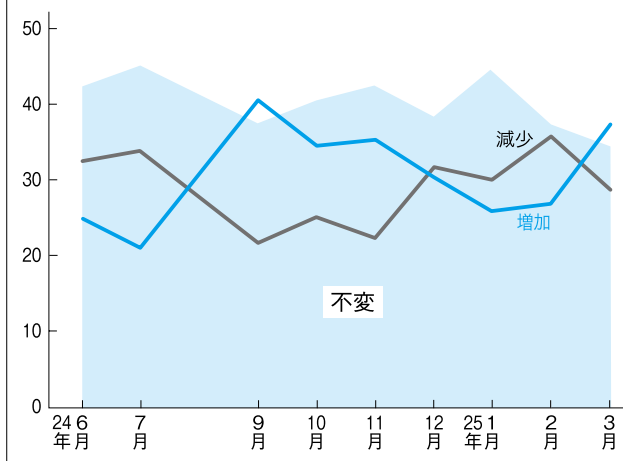
【機械稼働】上昇企業の割合 (9.2%) → 25.8%
低下企業の割合 (23.1%) → 12.1%
機械稼働状況(前月比) 上昇
機械稼働率 (79.5%) → 79.7%

【受注状況】増加企業の割合 (12.1%) → 22.1%
減少企業の割合 (24.2%) → 13.2%
受注量(前月比) 上昇
受注残高(2.1ヵ月) → 1.9ヵ月

【受注基調】上昇企業の割合 (13.4%) → 15.7%
下降企業の割合 (20.9%) → 17.1%
受注基調(前月比) 横ばい

●生産高前月比「増加・不変・減少」割合の推移

(%/資料:当金庫)



企業からのコメント

☆年度末としては落ち着いてはいたが、受注高としては悪くはなかった。効率化を進めているが、その結果が少しずつ出ているのかもしれない。(シールラベル)

☆★4月から自社製品を値上げするため、今後の売れ行きは若干減ることを想定している。今後、契約予定の国産米の価格上昇率は想定範囲を超えそうで非常に不安である。(味噌)

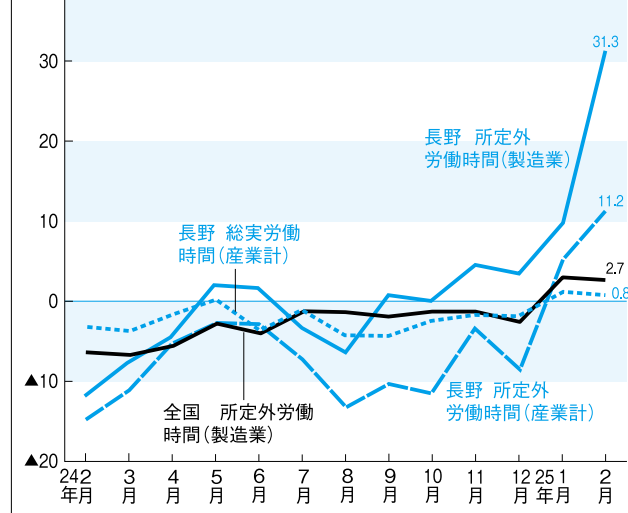
★トランプ大統領による相互関税発動による景気減退が危惧され、海外需要の停滞予想から受注減少が心配である。(電子機器)

★国内の自動車の生産台数は減少傾向にあり、この動向はしばらく続くと思われる。(自動車部品)

☆3月は天候が暖かい日が続いたためか売れ行きが好調であった。新しい得意先が増えたことも要因である。(そば)

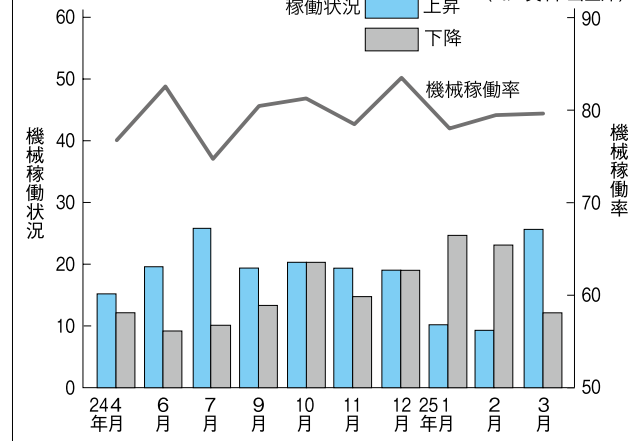
●長野県の労働時間の動き<前年同月比>

規模30人以上(€/資料:長野県・厚生労働省)



●機械稼働率と機械稼働状況前月比「上昇・下降」割合の推移

(€/資料:当金庫)



建設業

総合建設、土木工事、建築、各種設備

「施工高DI」総合建設、土木工事、建築が悪化して、全体も悪化

概 況

建設業の**施工高前月比**は、増加した企業が23.1%、不変が40.0%、減少が36.9%となり、**施工高DI**は▲13.8となりました。前月調査時の▲3.2から10.6ポイント悪化しました。

●施工高前月比「増加・不変・減少」割合(%)

建設業	前月	28.1	40.6	31.3
	今月	増加 23.1	不変 40.0	減少 36.9
総合建設業		30.0	50.0	20.0
土木工事業		20.0	40.0	40.0
建築業		10.0	45.0	45.0
各種設備業		33.3	41.7	25.0

【業種別】改善…各種設備

悪化…総合建設・土木工事・建築

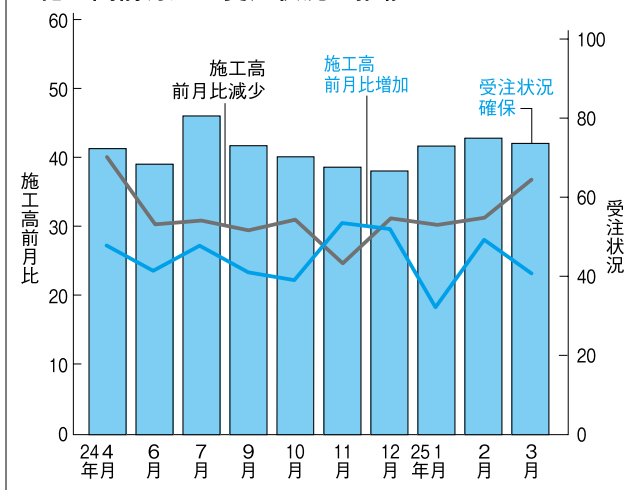
【受注状況】「多い・適正」企業の割合(75.0%) → **73.8%**

「少ない」企業の割合(25.0%) → **26.2%**

受注高月商倍率(3.3カ月) → **3.6カ月**

●施工高前月比と受注状況の推移

(%/資料:当金庫)



企業からのコメント

★資材の高騰が続き、経営に響いている。また、この業界への就業が少なく、人材不足となっている。

(造園)

☆土木公共工事が年度末で竣工し、完工高が伸長した。今期分の公共工事受注も順次確保できている。

☆★民間の住宅建設は増加しているが、大手ハウスメーカーが強い(営業力が違う)。(以上、総合建設)

4～3月の公共工事(東日本建設業保証取扱分)

長野県の4～3月の発注合計は、2,302.3億円(前年同期比+3.9%)となりました。前年比増加は「市町村」の710.0億円(同+2.8%)、「その他」の631.3億円(同+43.3%)、減少は「国」の2,971.1億円(同▲26.8%)、「県」の659.7億円(同▲2.3%)でした。

北信地区市町村の発注合計は204.3億円(同▲18.4%)で、うち長野市は96.4億円(同▲8.4%)でした。

●建設業保証取扱分から見た長野県と北信地区市町村の公共工事の状況(2025年3月/2024年4月～2025年3月累計)

(単位=百万円/資料:東日本建設業保証株)

		2025年3月	前年同月比	2024年4月～2025年3月	前年同期比
長野県	国	2,972	▲69.7%	29,711	▲26.8%
	県	3,708	▲23.3%	65,967	▲2.3%
	市町村	4,863	+31.2%	71,004	+2.8%
	その他	2,693	▲29.3%	63,125	+43.3%
	合計	14,237	▲35.7%	230,230	+3.9%
北信地区	市町村	269	▲64.4%	20,428	▲18.4%
	(内長野市)	200	▲58.5%	9,644	▲8.4%

4～3月の新設住宅着工戸数

長野県の4～3月の新設住宅着工戸数は11,254戸(前年同期比+1.9%)でした。持家が6,148戸(同+3.3%)、貸家が3,144戸(同▲7.0%)、分譲が1,896戸(同+15.3%)、給与が66戸(同▲5.7%)です。

北信地区の4～3月の新設住宅着工戸数は2,955戸(同▲4.1%)でした。持家が1,582戸(同+1.2%)、貸家が725戸(同▲25.8%)、分譲が644戸(同+20.1%)、給与が4戸(同▲33.3%)です。

●長野県と北信地区の新設住宅着工戸数

(2025年3月/2024年4月～2025年3月累計)

(資料:長野県)

		持家	貸家	分譲	給与	合計
長野県	3月	527戸	203戸	106戸	3戸	839戸
	前年同月比	+34.4%	▲37.0%	+11.6%	+200.0%	+3.6%
	4～3月	6,148戸	3,144戸	1,896戸	66戸	11,254戸
	前年同期比	+3.3%	▲7.0%	+15.3%	▲5.7%	+1.9%
北信地区	3月	136戸	54戸	28戸	0戸	218戸
	前年同月比	+15.3%	▲10.0%	▲3.4%	——	+5.3%
	(内長野市)	78戸	53戸	22戸	0戸	153戸
	(前年同月比)	+13.0%	+103.8%	+29.4%	——	+36.6%
	4～3月	1,582戸	725戸	644戸	4戸	2,955戸
	前年同期比	+1.2%	▲25.8%	+20.1%	▲33.3%	▲4.1%

卸小売業

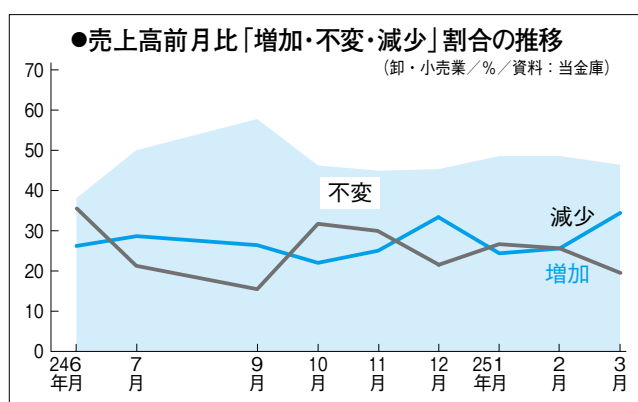
卸売業、小売業

「売上高DI」卸売、小売ともに改善

卸小売業の売上高前月比は、増加した企業が34.1%、不変が46.4%、減少が19.5%となり、売上高DIは+14.6となりました。前月調査時の±0.0から14.6%改善しました。

●売上高前月比「増加・不変・減少」割合(%)

卸小売業	前月	25.6	48.8	25.6
	今月	増加 34.1	不変 46.4	減少 19.5
卸 売 業		31.3	43.7	25.0
小 売 業		36.0	48.0	16.0



【業 種 別】改善…卸売業・小売業

3月の消費者物価指数(長野市) 2020年基準=100

◇総合指数(確報値)……112.7(前月比+0.3)

(前年同月比+3.7%) (43カ月連続プラス)

上昇…「食料」「教養娯楽」「光熱・水道」「保健医療」

「被服および履物」「交通・通信」「諸雑費」

下落…「家具・家事用品」「住居」

◇生鮮食品を除く総合指数…111.8(前月比+0.4)

(前年同月比+3.2%) (44カ月連続プラス)

企業からのコメント

★仕入価格が高騰しているが、卸売先様になかなかご理解いただけず、価格転嫁できていないのが悩みである。(青果物卸)

☆4月からのメーカー値上げがあるため、3月はかけ込み需要があった。(酒類卸小売)

★組合全体の生コンの昨年度売上出荷量は、前年比84%水準であった。原価上昇もあり、厳しい年であった。(生コン卸)

サービス業

サービス、輸送、外食、観光、不動産

「売上高DI」サービス、外食は増加、輸送は減少

サービス業 売上高前月比は、増加した企業が60.0%、不変が0.0%、減少が40.0%となり、売上高DIは前月比20.0%増加の+20.0となりました。

輸送業 売上高前月比は、増加した企業が44.4%、不変が33.4%、悪化が22.2%となり、売上高DIは前月比15.3%減少の+22.2となりました。

外食業 売上高前月比は、増加した企業が75.0%、不変が12.5%、減少が12.5%となり、売上高DIは前月比19.7%増加の+62.5となりました。

観光(旅館)業 入込数は前月比22.3%の減少、前年同月比でも14.3%の減少となりました。

不動産業 需給状況は前回に比べ、「双方手控え・どちらも低調」計は8.4%減少の66.6%、「引合いやや増加」は1.4%減少の11.1%でした。

企業からのコメント

☆★中古住宅(築10~20年)の引き合いは多いが、在庫がほぼ無いため、築30年超の物件をリフォームするケースが多くなっている。(不動産)

☆★3月までの荷動きは前年を上回る成果ではあるが、その前の年には程遠く、荷動きの好転とまでは言えない状況。(運送)

★地元の団体・企業が少なく、インバウンドも減少傾向であったため空室が多かった。(旅館)

●売上高前月比「増加・不変・減少」割合(%)

サービス業	前月	33.3	33.3	33.3
	今月	増加 60.0	不変 0.0	減少 40.0
輸送業	前月	50.0	37.5	12.5
	今月	44.4	33.4	22.2
うちタクシー業	前月	50.0	0.0	50.0
	今月	42.9	42.8	14.3
外食業	前月	57.1	28.6	14.3
	今月	75.0	12.5	12.5

「価格転嫁」の実施状況

「価格転嫁ができていない」が6割 「価格転嫁ができていない」が4割弱

「価格転嫁」が実施できた経緯

「自社から能動的に価格交渉を行った」が6割強

企業 アンケート 「価格転嫁」②
2025年3月調査

価格転嫁の「実施状況」

前号で「コストの増加があった」と答えた93.9%の企業に「コストの上昇分を自社製品・サービス価格に上乗せする『価格転嫁はどのくらいできているか』」を聞きました。

「十分にできている」2.5%と「ある程度できている」57.8%を合わせた「価格転嫁ができていない」が60.3%、「あまりできていない」33.2%と「できていない」6.0%を合わせた「価格転嫁ができていない」が39.2%、「価格転嫁する必要がない」が0.5%という結果になりました。

従業員規模で見ると、30人未満は30人以上より

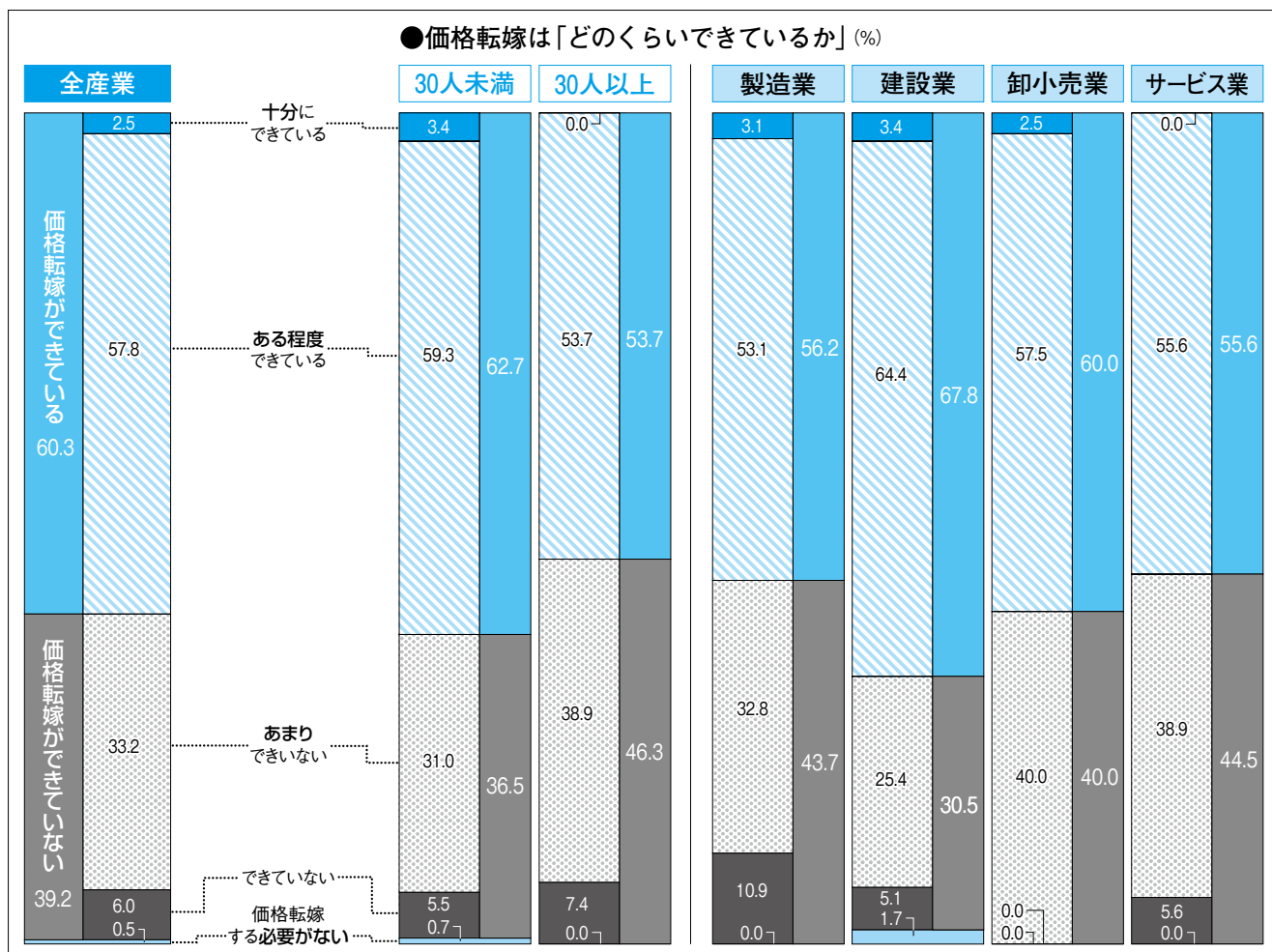
「価格転嫁ができていない」が9.0%高く62.7%です。逆に30人以上は30人未満より「価格転嫁ができていない」が9.8%高く46.3%となっています。

業種別

製造業 「価格転嫁ができていない」(56.2%)は4業種の中で2番目に低く、他方「価格転嫁ができていない」(43.7%)は4業種の中で2番目に高くなっています。

建設業 「価格転嫁ができていない」(67.8%)は4業種の中で最も高く、他方「価格転嫁ができていない」(30.5%)は4業種の中で最も低くなっています。

卸小売業 「価格転嫁ができていない」(60.0%)は4業種の中で2番目に高く、他方「価格転嫁ができていない」



なっています。

サービス業 「価格転嫁ができていない」(55.6%)
は4業種の中で最も高く、他方「価格転嫁ができていない」(44.5%)は4業種の中で最も高くなっています。

価格転嫁が「できた経緯」

前問で「価格転嫁ができていない」(60.3%)と答えた企業に「価格転嫁ができた経緯」を聞きました。

「自社から能動的に価格交渉を行った」(61.7%)
がトップで、以下「価格交渉せず自ら値上げした」
(30.8%)、「取引先側から交渉の申し入れがあった」
(5.0%)となりました。

従業員規模で見ると、30人未満は30人以上より「価格交渉せず自ら値上げした」(31.9%)が4.3ポイント高く、30人以上は30人未満より「取引先側から交渉の申し入れがあった」(6.6%)が6.6ポイント高く、30人以上は30人未満より「自社から能動的に価格交渉を行った」(69.0%)が9.7ポイント高く

業種別

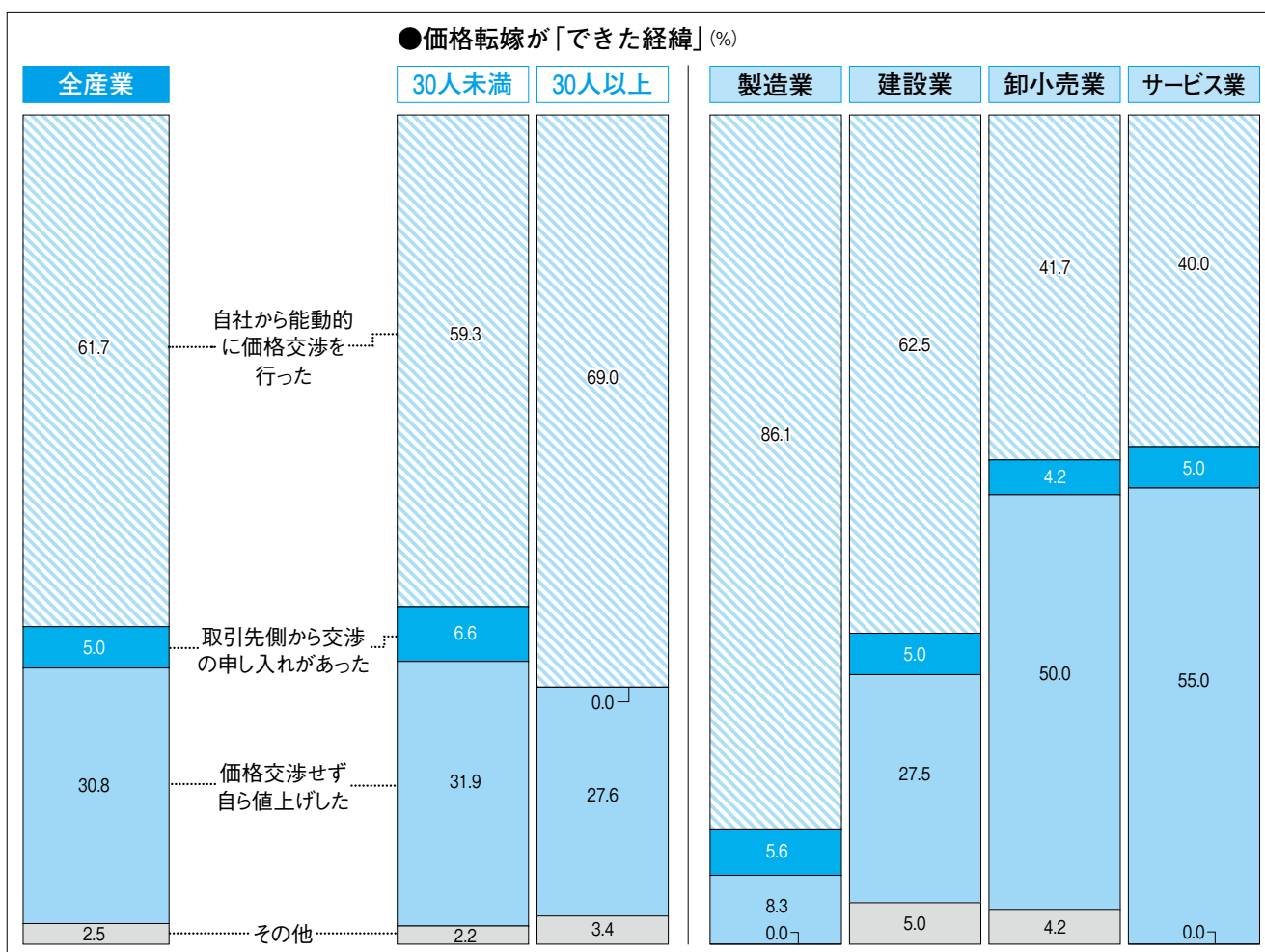
製造業 「自社から能動的に価格交渉を行った」(86.1%)、「取引先側から交渉の申し入れがあった」(5.6%)は4業種の中で最も高く、他方「価格交渉せず自ら値上げした」(8.3%)は4業種の中で最も低くなっています。

建設業「自社から能動的に価格交渉を行った」(62.5%)、「取引先側から交渉の申し入れがあった」(5.0%)は4業種の中で2番目に高くなっています。

卸小売業 「取引先側から交渉の申し入れがあった」(4.2%)は4業種の中で最も低くなっています。

サービス業「価格交渉せず自ら値上げした」(55.0%)は4業種の中で最も高く、他方「自社から能動的に価格交渉を行った」(40.0%)は4業種の中で最も低くなっています。

◇次号は「価格転嫁ができていない理由」と「価格転嫁以外のコスト増対策」を予定。





お客様に、喜び・感動の “花束”をお渡ししたい

有限会社 クラルテ
代表取締役 松橋 輝久さん

●創業の経緯をお聞きます…

私は東京の美容専門学校を卒業後、都内の美容室でキャリアを積みました。その職場で出会った女性と30歳のときに結婚。店長や中間管理職として働く中で、夫婦ともに「いつかは独立したい」という思いを抱くようになりました。

しかし、開業の地として東京は考えておらず、そんな折に、妻の実家がある長野市で「長野冬季オリンピック」の開催が決定。長野市の未来に将来性を感じ、1992年(平成4年)、34歳のときに長野市で有限会社クラルテを設立。南千歳町に美容室1号店「PiED DE POULE (ピエドプール)」を開業しました。店名はフランス語で「千鳥格子」を意味しています。

開店当初は集客に苦労しましたが、徐々にお客様が増え、それに伴いスタッフも増加。2002年(平成14年)に南石堂町に店舗を移転し、さらに目の届く場所に2号店を構えたいという思いから、同年、北石堂町に「PiED DE POULE POCHE (ピエドプールポッシュ)」を開業。“POCHE”はフランス語で「ポケット」を意味しています。

その後、お客様のご要望に応え、2014年(平成26年)には1号店の2階にネイル・アイラッシュサロン「POSY (ポージィ)」をオープン。店名には、“訪れるすべての方に感謝を込めて大きな花束を贈りたい”という理念が込められています。現在はこの3店舗を運営しています。

●業務の概要をお聞きます…

基本業務は、ヘアカット、カラー、パーマです。加えて、七五三、成人式、ウエディングな

どの特別なヘアメイクにも対応しています。POSYではネイル・アイラッシュの施術を提供しています。また、物販にも力を入れており、シャンプーやスタイリング剤に加えて、ドライヤーや脱毛器の販売も行っています。実際に店舗で使用しているアイテムを、お客様が気に入って購入されるケースが多いです。最近では、脱毛器を母親が息子のために購入されるケースも見られます。

●お客様の“特徴”をお聞きます…

お客様の年齢層は20代から70代以上までと幅広く、男性のお客様も年々増加傾向にあります。最近では、お母様が息子さんと一緒に来店されたり、ご主人が理容店の閉店を機に奥様と一緒に来店されるなど、ご家族でご利用いただくケースも見られます。

美容室は“お店”ではなく“スタッフ”につく傾向が強いため、スタッフとの信頼関係とコミュニケーションを何より大切にしています。実際、1号店のお客様が地元放送局のアナウンサーだったことがきっかけで、現在では2局のアナウンサーや出演者のヘアメイクを担当し、メイクレッスンも行っています。

●スタッフに対する“考え方”をお聞きます…

私たちは「スタッフ全員が同じ方向を向いて働くこと」を大切にしており、基本的には新卒を受け入れて一から育てる方針をとっています。他店舗からの転職者は即戦力になりますが、前職の習慣や価値観が弊社と合わないこともあるためです。

しかし、美容業界は人手不足かつ離職率が高いという課題があります。現在のスタッフは勤続年数も長く、3分の1は18年以上勤務しています。長く働いてもらうためにも、福利厚生には力を入れており、働きやすい環境づくりに取り組んでいます。

また、当社ではトップダウンではなく、サー

バントリーダーシップを重視し、現場の声に耳を傾けています。管理スタッフには権限委譲を行い、スタッフの主体性と成長を支えることで、相互信頼の強化につながっていると思います。

●今後の方針や夢をお聞きます…

長野市には現在900店舗以上の美容室があり、すでに飽和したレッドオーシャン市場です。実際、人口1万人あたりの美容室数では東京を上回るというデータもあります。

近年では、大型店よりも少人数制のサロンが増え、SNSを活用したスタッフの引き抜きも頻繁に行われています。このような市場環境の中で、当社としてはこれまでのような拡大路線ではなく、「堅実な経営」「人づくり」「チーム力の強化」を重視していきたいと考えています。

スタッフ一人ひとりがお客様から信頼され、



ピエドプール店内

長く安心して働ける環境をつくることで、結果的に会社全体の成長へとつながっていくと信じています。

コロナ禍が終息した後の2023～2024年度には過去最高の売上を達成することができました。今後も、お客様・スタッフ・地域に愛される美容室であり続けることを目指して、日々努力を重ねてまいります。



ピエドプールとポージィ外観

●事業の概要

創業 1992(平成4)年
資本金 300万円
代表者 松橋 輝久
従業員 20名(男3名・女17名)
業務 美容室、ネイル・アイラッシュサロン
事業所 長野市大字南長野南石堂町1418
URL <http://pied-de-poule.com/>

●沿革

1992(平成4)年 (有)クラルテ設立
1992(平成4)年 1号店(PIED DE POULE)を南千歳町に開設
2002(平成14)年 PIED DE POULEを現地へ移転
2002(平成14)年 2号店(PIED DE POULE POCHE)を北石堂町に開設
2014(平成26)年 1号店2階にネイル・アイラッシュサロン(POSY)開設

北信濃の旅人

(2)河鍋暁斎 ②

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



河鍋暁斎(かわなべきょうさい) (1831～89)は、幕末から明治時代にかけて活躍した絵師です。慶応元年(1865)に信州を旅し、小布施の高井鴻山宅に滞在して絵を描いた後、善光寺大門町の旅籠、佐渡屋小右衛門方に逗留しました。

戸隠中院の天井絵を依頼される

戸隠は現在は神社ですが、江戸時代は神仏混交で寺院の力が強く、現在の宝光社・中社・奥社は、それぞれ宝光院・中院・奥院と呼ばれていました。中院の建物は嘉永5年(1852)に完成しましたが、天井絵を描く人がいなくて困っていました。河鍋暁斎が善光寺の門前に逗留していることを知った戸隠一山の人々は、早速会議を開いて暁斎に依頼することを決め、使者を送って暁斎に天井絵を依頼しました。

善光寺の門前に来て長くなったので、そろそろ

移動したいと思っていた暁斎は、奉納するという約束で天井絵を引き受けました。暁斎は、善光寺門前に滞在している間に絵をたくさん依頼されていましたが、その制作はひとまず打ち切って、翌日には門人の杉本留吉を伴って戸隠に移動しました。

天狗と間違えられる

暁斎が戸隠で滞在した所は、中院(中社)の門前にある本坊の勧修院(現在の久山館)です。暁斎は毎晩、まず勧修院の滝で身を清め、奥院(奥社)まで片道30町(3.3km)の道のりを歩いて手力雄命(たぢからのおみこと)に祈願しました。その時のエピソードが残っています。

勧修院で働く菊松という若者がいました。菊松の仕事は、毎日奥院の神灯に油を注いで灯をともすことでした。ある日、奥院へ行くのが遅れてし



戸隠中院の天井絵を描く河鍋暁斎(『暁斎画談』外編巻之二)

まい、夜が更けてから松明^{たいまつ}をかざして、杉並木を通して奥院へ登っていくと、上から下りて来る人がいます。松明をかざしてよく見ると、それは、目がらんらんと輝き、鼻が高く、鳶^{とび}の口をした天狗でした。菊松はキャッと叫んで仰向けに倒れました。

菊松が天狗と見間違えたのは、奥院に参詣して帰る途中の暁斎でした。暁斎が菊松の投げ出した松明の光で倒れている人をよく見ると、それは勸修院の菊松でした。すぐに抱き起して訳を話し、2人は笑って別れました。菊松が天狗に襲われて仰天する様を描いた暁斎の絵が、『暁斎画談』に掲載されています。

中院拝殿の天井絵を描く

こうして毎晩奥院に参拝を続けた暁斎は、満願の日を迎え、いよいよ中院拝殿の天井絵を描くことになりました。その天井は、10間(18m)四方もあります。そこに竜を描くのですが、直接天井に描くわけではなく、床の上で描いた絵を天井に掲げます。

名高い河鍋暁斎が天井絵を描くというので、戸隠一山の神官や僧は言うまでもなく、近郷近在の人々も見物に集まったので、社殿内は人々で立錫の余地ありません。暁斎はまず、3合(540cc)入りの大盃で神酒を3杯飲み干すと、大筆を振るって、画面いっぱいに躍動感のある大竜を描き始めました。人々はそれを、かたずをのんで見守ります。こうして一週間かけて、暁斎は大竜の天井絵を完成させました。

未完成の合天井

こうして天井絵は立派に完成しましたが、一山の人々はさらに大竜の周囲の合天井^{ごうてんじょう}にも、68枚の絵を描いてほしいとせがみます。今度は奉納ではなく、謝金は十分に払うというのです。もはや戸隠にも飽きてきた暁斎は、帰りたいと言いますが、許してくれません。気が進まないまま8枚描きました。



河鍋暁斎の天井絵が復元されている戸隠中社の拝殿

このままでは、いつになったら帰れるか分かりません。戸隠は冬になると往来できないので、来春まで足止めされるとも聞きました。ここを逃げ出したいのですが、門番が見張っていて外に出ることもできません。ついにある深夜、ひそかに勸修院を抜け出したものの、発見されて連れ戻されてしまいました。

しかし暁斎がどうしても下山したいと懇願したので、戸隠一山の人々は協議して、続きは来春に描くことを約束させて、暁斎の下山を許しました。

こうして暁斎は、ようやく戸隠を去ることができました。しかし暁斎は再び戸隠を訪れることはありませんでした。こうして中院拝殿の天井絵の周囲の合天井は、未完成のままとなっていました。

復元された天井絵

戸隠は明治時代になって戸隠神社となり、中院は中社と名を変えました。その拝殿は昭和17年(1942)に焼失して、暁斎の天井絵も失われました。昭和31年(1956)に再建された拝殿には天井絵がありませんでしたが、平成15年(2003)に絵葉書を元に暁斎の天井絵が復元されました。

6月号は「河鍋暁斎③」の予定です。

◆物価高に伴い「具体的に節約した(している)もの」

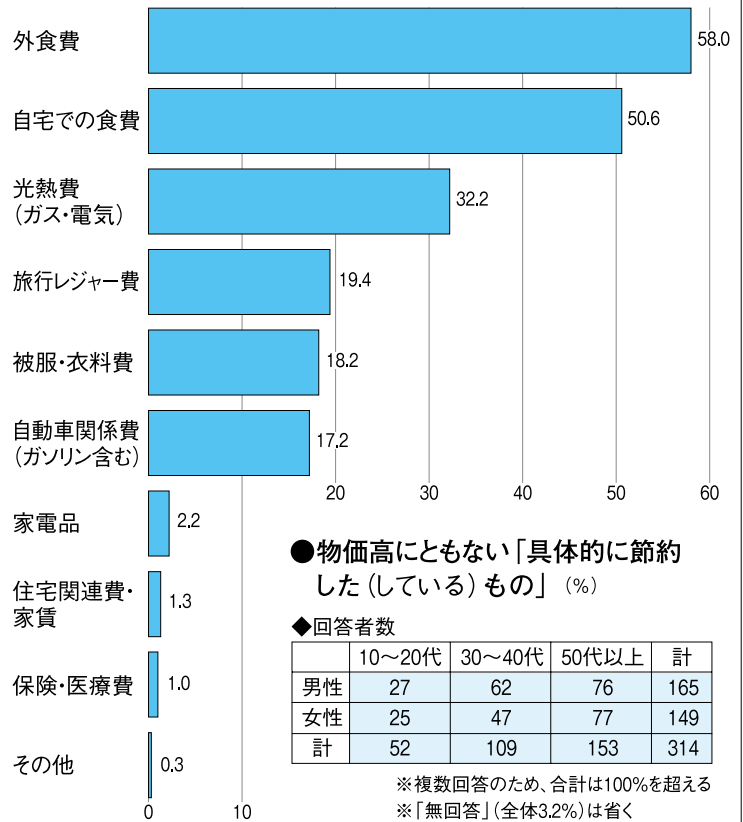
「外食費」58.0% 「自宅での食費」50.6% 「光熱費」32.2%

前号で「物価高に伴って、節約している」と答えた88.2%の人に、その「具体的に節約した(している)ものは何か」を聞きました。

全体の1～3位を見ると、1位は「外食費」で58.0%、2位は「自宅での食費」で50.6%、3位は「光熱費(ガス・電気)」で32.2%となりました。

男女別で1～3位を見ると、男性は全体と同様になり、女性は「自宅での食費」「外食費」「光熱費(ガス・電気)」の順になっています。

世代別で見ると、10～20代は全体と同様になり、30～40代は1位と2位は全体と同様で、3位に「旅行レジャー費」が入りました。50代以上は全体の1位と2位が逆転し、1位「自宅での食費」、2位「外食費」、3位「光熱費(ガス・電気)」という結果になりました。〈当金庫・2025年3月調査〉



●みなさまの税務相談のご案内 [6月]

(注)上の店名は開催場所、下の()内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
6月 3日 火	若槻支店 (城北支店)	東長野支店 (柳原支店)	6月 13日 金	須坂支店 (墨坂支店・太子町支店)	豊野支店
4日 水	川中島駅前支店 (川中島支店)	本店営業部 (権堂支店・善光寺下支店)	17日 火	中野支店 (小布施支店)	山ノ内支店 (飯山支店)
6日 金	篠ノ井支店 (川柳支店)	松代支店 (更北支店)	18日 水	大門町支店 (桜枝町支店)	飯綱支店
9日 月	石堂支店 (伊勢宮支店)	七瀬支店 (南支店)	24日 火	本店営業部	古里支店 (吉田支店)
11日 水	長池支店 (大豆島支店)		25日 水	本部	
12日 木	稲荷山支店 (屋代支店)	上山田支店 (戸倉支店・坂城支店)	26日 木	本部	



長野信用金庫 総合企画部

本店 〒380-8686 長野市居町 133-1 TEL 026-228-0221(代)

長野信用金庫 URL <https://www.nagano-shinkin.jp/>